

ふくしのまちづくりラボ

ラボとは一般的に「Laboratory(ラボラトリー)の略で実験室や研究所を指します。新しい技術やアイデアを試す場所としても用いられています。

今回のテーマ「創作」



新たな拠点作りにむけて

みんなで話そう

どなたでも参加OK!

8/22 木

18:00~20:00

保健福祉センター

参加無料

会場は出入り自由 託児希望の方はご連絡ください

申込みは 8/20 火 まで

QRコード または 保健福祉センター 32-2000



1 講話

疎外感や孤独感—多くの人が心を病む時代だからこそ、必要な「アートのカ」

講師 植草学園大学教授/毎日新聞客員編集委員 野澤 和弘 さん

2 実践報告

① 和寒町ふくしのまちづくり基本構想

あらゆる年代の人々が多様な活動・喜び・楽しみを作りだす創作について
山形県の取り組みから

社会福祉法人ゆうゆう 理事長 大原 裕介

② 北海道の障がい者芸術文化推進事業について

社会福祉法人ゆうゆう 芸術文化推進担当

③ 認知症×アート 芸術の持つ力

アトリエ UuM(うーむ) 長澤 裕子 さん

3 ワークショップ

① 実はやってみたかった! 思いっきり〇〇

② 〇〇をやってみよう! 必要なひと・もの・こと・場所なども具体的にあげてみよう!

主催 和寒町

共催 社会福祉法人ゆうゆう、teco

問合せ 和寒町保健福祉センター 32-2000